

財務諸表論 解答速報

第75回税理士試験 財務諸表論解答速報 第2版(2025年8月6日 11:25現在)

解答は弊社独自の見解に基づき作成するもので、主催者の解答を保証するものではありません。

また、解答は予告なく変更することがあります。

〔第一問〕

問 1

(1)

a	ア
---	---

(2)

b	ウ
---	---

各 2 点

問 2

(1)

帳簿価額

2 点

(2)

A.	引当金処理とは、有形固定資産の除去に係る用役(除去サービス)の費消を、当該有形固定資産の使用に応じて各期間に費用配分し、それに対応する金額を負債として認識する処理方法であり、資産の保守のような用役を費消する取引について、従来の会計処理から考えた場合に採用される処理である。	5 点
B.	引当金処理の場合には、有形固定資産の除去に必要な金額が貸借対照表に計上されないことから、資産除去債務の負債計上が不十分であるという問題点がある。	4 点

問 3

(1)

a	交換
---	----

(2)

b	オ
---	---

各 2 点

(3)

イ

2 点

(4)

資産に対する支配とは、当該資産の使用を指図し、当該資産からの残りの便益のほとんどすべてを享受する能力をいう。	4 点

8 月 7 日(木) 20:30 より解答速報会を LIVE 配信で実施！！
得点すべき箇所、合格ラインの目安など一挙公開！！

財務諸表論 解答速報

〔第二問〕

問 1

(1)

- | | | | |
|---|--------|----|--------------|
| ① | 2,670 | 千円 | 別解：2,550 千円 |
| ② | 16,450 | 千円 | |
| ③ | 44,220 | 千円 | 別解：44,100 千円 |
- 各 2 点

(2)

年金資産は退職給付の支払のためのみに使用されることが制度的に担保されていることなどから、これを収益獲得のために保有する一般の資産と同様に貸借対照表に計上すると、財務諸表利用者に誤解を与えるおそれがあるためである。	4 点
--	-----

(3)

過去勤務費用の発生要因である給付水準の改訂等が従業員の勤労意欲が将来にわたって向上するとの期待のもとに行われる面があるためである。	3 点
---	-----

問 2

(1)

- | | | |
|---|--------|----|
| ① | 210 | 千円 |
| ② | 13,000 | 千円 |
- 各 2 点

(2)

a	ウ	b	力
---	---	---	---

各 2 点

(3)

製品マスターは、それ自体が販売の対象物ではなく、機械装置等と同様にこれを利用して製品を作成すること、製品マスターは法的権利を有していること、適正な原価計算により取得原価を明確化できるためである。	4 点
---	-----

8 月 7 日(木) 20:30 より解答速報会を LIVE 配信で実施！！
得点すべき箇所、合格ラインの目安など一挙公開！！

財務諸表論 解答速報



第75回税理士試験 財務諸表論解答速報 第2版(2025年8月6日 12:55現在)

解答は弊社独自の見解に基づき作成するもので、主催者の解答を保証するものではありません。
また、解答は予告なく変更することがあります。

〔第三問〕

①：1点

貸借対照表

×5年3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	(1,289,809)	I 流 動 負 債	(392,540)
現金及び預金	(201,915)	支払手形	(106,208)
受取手形	(223,970)	買掛金	(① 134,700)
売掛金	(① 538,720)	1年内返済予定長期借入金	(① 15,000)
商 品	(① 334,177)	リ ー ス 債 務	(4,460)
未 収 収 益	(① 250)	未 払 金	(① 9,508)
貸倒引当金	(① △9,223)	未 払 費 用	(① 6,687)
		未 払 法 人 税 等	(① 53,417)
		未 払 消 費 税 等	(28,500)
		前 受 金	(10,360)
		賞 与 引 当 金	(① 22,500)
		役 員 賞 与 引 当 金	(① 1,200)
II 固 定 資 産	(946,956)	II 固 定 負 債	(1,135,972)
有 形 固 定 資 産	(467,888)	長 期 借 入 金	(① 120,000)
建 物	(① 403,155)	(リ ー ス 債 務)	(① 13,380)
構 築 物	(① 35,900)	社 債	(① 952,500)
器 具 及 び 備 品	(① 10,993)	退 職 給 付 引 当 金	(① 50,092)
リ ー ス 資 産	(① 17,840)	負 債 合 計	(1,528,512)
		純 資 産 の 部	
無 形 固 定 資 産	(15,000)	I 株 主 資 本	(705,313)
借 地 権	(15,000)	資 本 金	(317,500)
		資 本 剰 余 金	(69,150)
		資 本 準 備 金	(67,500)
		(そ の 他 資 本 剰 余 金)	(① 1,650)
		利 益 剰 余 金	(325,013)
投資その他の資産	(464,068)	利 益 準 備 金	(25,000)
投資有価証券	(① 154,200)	そ の 他 利 益 剰 余 金	(300,013)
(関 係 会 社 株 式)	(① 251,000)	繰 越 利 益 剰 余 金	(300,013)
(繰 延 税 金 資 産)	(① 36,368)	自 己 株 式	(△6,350)
(長 期 性 預 金)	(① 20,000)	II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	(2,940)
破産更生債権等	(① 6,220)	(そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金)	(① 2,940)
貸倒引当金	(① △3,720)	純 資 産 合 計	(708,253)
資 産 合 計	(2,236,765)	負 債 及 び 純 資 産 合 計	(2,236,765)

財務諸表論 解答速報



損益計算書

自 ×4年4月1日

至 ×5年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高	(① 3,744,057)	
売 上 原 価	(① 2,997,055)	
売 上 総 利 益	(747,002)	
販売費及び一般管理費	(① 390,139)	
営 業 利 益	(356,863)	
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	(① 335)	
受 取 配 当 金	(① 1,200)	
為 替 差 益	(① 200)	
(雑 収 入)	(① 291)	(2,026)
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	(① 8,777)	
社 債 利 息	(① 10,000)	
(株 式 交 付 費)	(① 1,500)	
そ の 他 営 業 外 費 用	(1,000)	(21,277)
経 常 利 益		(337,612)
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	(① 6,634)	(6,634)
特 別 損 失		
棚 卸 資 産 評 価 損	(① 23,400)	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	(① 1,860)	(25,260)
税 引 前 当 期 純 利 益		(318,986)
法人税、住民税及び事業税	(① 101,369)	
過年度法人税等追徴税額	(① 1,567)	
法 人 税 等 調 整 額	(① △14,372)	(88,564)
当 期 純 利 益		(230,422)

①：1点

別解 特別損失の貸倒引当金繰入額

C社に対する債権は前期において貸倒懸念債権であり、同債権に対し貸倒引当金1,860千円をすでに個別引当していたと考え、本解答を1,860千円としています。

一方、問題文に「貸倒引当金の繰入は、その全額を特別損失に計上する」とあり、「その」を貸倒引当金と考え、貸倒引当金の全額である3,720千円を繰入額と考えることもできます。そのため、以下の別解が考えられます。

貸倒引当金繰入額(特別損失)：3,720千円

販売費及び一般管理費：388,279千円

営業利益：358,723千円、経常利益：339,472千円

財務諸表論 解答速報

株主資本変動計算書

(単位：千円)

ア	300
イ	$\Delta 4,300$
ウ	230,422
エ	1,650
オ	6,350
カ	17,500
キ	2,590

各 1 点

第 75 回 税理士試験 財務諸表論 講評

第一問

第一問では、「概念フレームワーク」、「資産除去債務」、「収益認識に関する基準」が出題されました。

問 1 概念フレームワーク(4 点)

(1)「取得原価の意義」(語群選択問題)

語群の中からある程度選別できるので、得点していただきたいところです。

(2)「市場価格の変動額」(語群選択問題)

語群の中からある程度選別できるので、できれば得点していただきたいところです。

問 2 資産除去債務(11 点)

(1)「除去費用は、…有形固定資産の帳簿価額に加える。」(語句記入問題)

取得原価と紛らわしいですが、できれば得点していただきたいところです。

(2)「引当金処理の説明」(記述問題)

引当金処理の説明は書きづらい点もありますが、模範解答どおりでなくても部分点をとっていただきたいところです。

(3)「引当金処理の問題点」(記述問題)

基本的な問題であるため、ぜひ得点していただきたいところです。

問 2 収益認識に関する会計基準(10 点)

(1)、(2)「収益認識基準の基本原則の穴埋め」(語句記入問題、語群選択問題)

基本的な問題であるため、ぜひ得点していただきたいところです。

(3)「収益認識の 5 つのステップ」(正誤問題)

基本的な問題であるため、ぜひ得点していただきたいところです。

(4)「資産に対する支配の説明」(記述問題)

抽象的な文言があり、できなくても仕方がないと思います。

第二問

第二問では、「退職給付会計」と「ソフトウェア」が出題されました。

問1 退職給付会計(13点)

(1)「過去勤務費用が発生した場合の退職給付債務等の金額」(計算問題)

期首に過去勤務費用が発生した場合、当期の利息費用の計算で、退職給付債務に過去勤務費用を含めるか否かが解釈が分かれるところですが、計算自体は難解ではないため、部分点をとっていただきたいところです。

(2)「年金資産の金額を退職給付債務の金額から控除する理由」(記述問題)

基本的な問題であるため、ぜひ得点していただきたいところです。

(3)「過去勤務費用を每期費用処理する理由」(記述問題)

基本的な問題であるため、ぜひ得点していただきたいところです。

問2 ソフトウェア(12点)

(1)「市場販売目的のソフトウェア償却費と研究開発費の金額」(計算問題)

一部細かい論点がありますが、2箇所のうち1箇所は得点していただきたいところです。

(2)「自社利用のソフトウェア」(語群選択問題)

基本的な問題であるため、2箇所のうち1箇所は得点していただきたいところです。

(3)「製品マスターの制作費のうち研究開発費に該当しない部分を資産計上する理由」(記述問題)

少し応用的な論点ですが重要度は高いため、得点していただきたいところです。

第三問

商品の卸販売業を営んでいる会社について、B/S、P/Lを作成するとともに、株主資本等変動計算書の金額(一部)を解答する問題が出題されました。

昨年度は全体的なボリュームが多く各論点の難易度が高かったですが、今年度は難解な論点はなく、ボリュームも昨年度ほど多くありませんでした。

難解な論点はありませんでしたが、貸倒引当金、売上原価、有形固定資産、借入金など丁寧に解かないと計算ミスが連発するリスクがありました。

そのため、有価証券、社債、賞与引当金、退職給付、法人税等など比較的解きやすい論点から部分点を積み上げた後に、上記の計算ミスが生じやすい問題をていねいに解いていく必要があったと思います。

予想合格ボーダーライン

以上を踏まえ、合格のボーダーラインの目安としましては、以下のように考えられます。

第一問	第二問	第三問	合 計
14 点	15 点	36 点	65 点



ライブお疲れさま会

のご案内

今年の税理士試験を受験された皆様のこれまでの努力を労いつつ、試験後に新たな一步を一緒に考える生配信「お疲れさま会」をYouTube Liveにて下記の日程で生配信いたします。

配信中はチャットを通じたご相談も大歓迎です。気になることは相談しつつ、一緒に同じ科目に挑戦する予定の皆さんで集まって、来年度の試験に向けてスタートダッシュを切りましょう！



配信日時

簿記論・財務諸表論

8/12(火)20:00~

法人税法

8/14(木)20:00~

相続税法

8/15(金)20:00~

消費税法

8/13(水)20:00~

※アーカイブ配信も行う予定です。

税理士WEB講座の特長



- ・ **オンラインでどこでも学習OK**
自宅にいながら実力派講師の講義が受けられます。
- ・ **後からでも、何度でも受講OK**
受講期間内は好きな時に繰り返し見直せます。
- ・ **スマホ・タブレットにダウンロードOK**
通信料を気にせず、外出先でも学習できます。

※WEB講座受講画面をイメージしたはめ込み画像です。
※WEB講座の内容・サービス等は予告なく変更となる場合がございます。
最新の情報はネットスクールホームページにてご確認ください。



ネットスクール公式YouTubeチャンネルにて生配信
<https://www.youtube.com/@netschoolcorp>

🔍 ネットスクール YouTube ×



分割払い金利無料キャンペーン実施中！ 2025/9/30 (火)正午まで

WEB講座の詳細・お申込は



Net-School



0120-979-919 (平日 10:00~18:00)



<https://www.net-school.co.jp/>